

# 礼文町礼文小学校 1日防災学校実施報告

- 礼文町礼文小学校のコンセプト
  - ・児童が防災について理解し、自ら判断し、防災・減災行動がとれるようにしていく能力（生きる力）を育成する。
  - ・自然災害についての学習を通して、自ら行動できることを考え、実際に体験する。
  - ・防災について考える1日とする。
- 時間割
  - 2時限 避難訓練（全校生徒：行事）
  - 3時限 防災講話・シェイクアウト訓練（全校生徒：特別活動）
  - 4時限 新聞紙スリッパ（1・2年：図工）  
ハザードマップ作成（3・4：社会）  
非常食づくり（5・6：家庭）
  - 給食 炊き出し訓練・受け取り訓練（全校生徒）
  - 5時限 振り返り（全校生徒：特別活動）

## 〔連携・協力〕

日本赤十字北海道支社礼文分区、礼文町役場



# 1 日防災学校活動案

日時：平成30年9月10日（月）3校時～

実施者：礼文小学校教職員 礼文町役場総務課

礼文町教育委員会 日本赤十字礼文分区

## 1、ねらい

1日防災学校で学習したことから、今後の防災行動や減災行動について考え、防災の知識に関心をもつ事ができる。

## 2、目標

- ・児童が防災について理解し、自ら判断し、防災・減災行動がとれるようにしていく能力（生きる力）を育成する。
- ・自然災害についての学習を通して、自ら行動できることを考え、実際に体験する。
- ・防災について考える1日とする。

## 3、事前指導（9月6日金）

### ・避難時の留意事項

○「おはしも」行動についての説明

～「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」

○頭を守る行動について

～近くの机の下に入る、頭の上にカバンなど防御するものを持ちしゃがむ等

○避難経路について

～「放送の指示があってから、正面玄関、または体育館出口より素早く外に出ましょう。」

### ・1日防災学校の概要について

○防災講話と体験活動について

～「防災に関するお話を聞いたり、作ったりして、災害から身を守る勉強する1日です。」

## 4、1日防災学校の実践計画

実践1…避難訓練 実践2…個別体験活動（別記記載）

実践3…炊き出し体験（避難所体験）

5、1日防災学校活動案

①実践1 避難訓練（10：00～10：15）

想定災害：地震

過程	活動内容	留意点
はじめ (5分)	○避難訓練準備 避難手順確認（児童、担任、他教師） ・放送準備	
中 10：05  (3分)	○避難訓練開始 ・非常ベル作動、放送指示 避難開始 ・「おはしも」に従って素早く避難する ・教師担当場所配置 ・最終校舎確認（教頭）	
おわり 10：08  (7分)	○避難完了 ・報告確認 ・避難の様子についてのお話 消防の方より（訓練の様子） 学校長より（1日防災学校についての意欲喚起）	内容は、指導部 提案に沿う

②防災講話（10：30～11：15）

ねらい：災害の様子や避難行動について理解し、自らできる防災行動について考え、実践する力をつける。

過程	活動内容	留意点
はじめ 5分	○体育館へ移動→児童休憩→集合  ○防災講話準備	・くつの処理 ※児童は教室よりランドセルをもって集合
中 10：35～ 35分	○防災監田住昌禎さんのお話 ・シェイクアウト訓練の実施	・紹介～教頭
おわり 11：10～ (5分)	○質疑応答 ・出ない時は、感想など	・進行～教頭

③実践2 個別体験活動（11：20～12：05）

別紙学習指導案記載

④実践3 炊き出し体験（12：05～13：05）

過程	活動内容	留意点
はじめ 5分	○体育館へ移動  5・6年生は炊き出し準備	
中 12：10～ 13：00 50分	○日本赤十字礼文分区の方と共に災害食を提供  1～4年生 受け取り体験→実食  5・6年生 炊き出し体験→実食	
おわり 13：00～ 13：05 (5分)	○後片付け	

⑤活動の振り返り～全学年（13：45～14：30）～事後指導

別紙学習指導案記載

⑥教職員打ち合わせ（16：00～）

- ・ 1日防災学校実践の振り返り
- ・ 避難マニュアル、対応等の確認
- ・ 防災意識、防災減災行動の児童の意識、実情について（変化等）

# 1・2年図工科学習指導案（略案）

日時：平成30年9月10日（月）4校時

児童：礼文小学校 1年生 11名

2年生 8名

指導者：上野 芳恵 小松 智広 今井 広子 古山 美由紀

## 1、単元名 「新聞スリッパを作ろう」

## 2、本時の目標

防災講話をもとに、災害時に必要なものを考え、身近な素材を活用して防災グッズを作成する。

## 3、本校の育成する資質・能力との関連

本単元では、次の3点について児童の育成を目指し、探求力の向上を図る。

（学ぶ意欲・喜び）スリッパ作りに興味を持ち、進んで作ろうとする。

（豊かでたくましい心）災害時に活用しようとするなど、制作活動に生かそうとする。

（力合わせ）友達と協働しながら制作活動に取り組むとともに、活用について考える。

## 4、展開

過程	活動内容	教師の支援と留意点	評価
つかむ 3分	○防災講話の振り返り  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     避難所での生活に役立つものを作ってみよう                      ～新聞スリッパを作ろう～                 </div> ○新聞スリッパを作ることを理解する。	・「避難してきた場所にどんなものがあれば、いいと思いますか。」 食べ物、水、毛布、服・・・  ・「今日は、避難してきた時、手軽に作れるスリッパをみんなに作ってほしいと思います。」	
考える 35分	○作り方の説明を聞いて理解する。 ・各学年の班分け（1年2 2年2） ・全体説明の後、各班に教師がつく ・終わった子についての指示 ○制作活動開始  ○体験活動	・「新聞スリッパの作り方を説明します。」  ・「終わった子のはいてみましよう。」	評 説明を聞いて手順を理解し取り組んでいる
まとめ 7分	○感想発表  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     災害の時は、たくさんの方が必要になりますが、身近なものを工夫して作れるものいろいろあります。                 </div> ○防災知識への関心を促す	・「スリッパを作ってみてどうでしたか？」	評 災害に対応する場面などにおいて図工で学んだ制作活動に生かそうとしている。

### 3・4年社会科学習指導案（略案）

日時：平成30年9月10日（月）4校時

児童：礼文小学校 3・4年生 15名

（3年生 7名 4年生 8名）

指導者：八重樫 裕樹

1、単元名 「オリジナルハザードマップを作ろう」

2、本時の目標

災害時に安全に行動できるよう、調査や資料をもとにハザードマップを作成するとともに、ハザードマップを活用して適切な避難行動について考えることができる。

3、本校の育成する資質・能力との関連

本単元では、次の3点について児童の育成を目指し、探究力の向上を図る。

（学ぶ意欲・喜び）ハザードマップに興味を持ち、自分のオリジナルハザードマップを進んで作ろうとする。

（豊かでたくましい心）ハザードマップ作りを通して、防災の知識を深める。

（力合わせ）友達と協同しながら制作活動に取り組むとともに、防災行動について考える。

4. 展開

過程	活動内容	教師の支援と留意点	評価
つかむ  5分	○ハザードマップを知る。  自分たちが住んでいる地域に災害が発生しても安全に行動できるようハザードマップを作ろう	・「災害時に、素早く行動するためには、自分の住んでいる所がどれくらい危険か、知っておく必要があります。どのようなものがあれば、知ることができるでしょうか。」 (必要に応じて) 防災講話の回想	
	○ハザードマップ作ることを知る。	・「今日は、ハザードマップを作るために、標高を確かめていきたいと思います。」	
考える  35分	○標高指示の場所巡りをしながら記録し、危険について考える。  ○ハザードマップ制作 標高に合わせて、白地図に色を塗っていく	・白地図準備 (探索順) 役場一会所前—香中坂(標高を記録しておく)—学校 ・津波の想起「0mは、花れぶんの○階だから、そこまでいけばいいですね。」(礼文の高い建物との比較) ※白地図大に付箋等で貼付	評 資料を活用し、安全に配慮した地図を作製できる
まとめ  5分	○感想交流  ハザードマップを用いて、住んでいる所でより安全な避難行動をとれるよう日頃から考えましょう。	・ハザードマップ作りをして、どんなことがわかりましたか。	評 防災行動への関心をもつ

## 5・6年家庭科学習指導案（略案）

日時：平成30年9月10日（月）4校時～給食

児童：礼文小学校 5・6年生 15名

（5年生 5名 6年生 10名）

指導者：清水 誠也 高森 尚樹

### 1、単元名 「非常食を作ろう」

### 2、本時の目標

調理の基礎を生かし、災害時の避難所における生活状況を踏まえた非常食を作成し、実食するとともに、防災時における食の大切さに気付く。

### 3、本校の育成する資質・能力との関連

本単元では、次の3点について児童の育成を目指し、探求力の向上を図る。

（学ぶ意欲・喜び） 災害時の非常食作りに興味を持ち、進んで作ろうとする。

（豊かでたくましい心） 非常食作り、炊き出し体験、実食を通して、防災の知識を深める。

（力合わせ） 友達と協同しながら各活動に取り組むとともに、防災行動について考える。

### 4、展開

過程	活動内容	教師の支援・留意点	評価
つかむ  5分	○防災講話の回想  ○災害時の非常食を作ることを知る。  災害時でも可能な非常食（みそ汁）の作り方を学び、みんなで食べてみよう	・「災害時、避難所ではどのようなことが必要になるでしょうか。」  ・「避難所では、たくさん必要なことがあります。今日は、炊き出し用のみそ汁をみなさんに作ってもらいたいと思います。」	評 防災講話を想起し、避難所での生活を考えている。
考える  40分	○各グループでの調理活動 グループは、学級の生活班で構成する 具材についてはあらかじめ作るものを用意し、レシピについても事前に知っておく。  ○できたものを体育館に搬出する。	・事前準備内容確認  ・「調理が終わったら体育館へ運びましょう。」 ※赤十字礼文分区の方との共同作業（ごはん、みそ汁提供）	評 進んで調理し、友達と協力して作業している。
まとめ	○配膳準備・配膳  ○実食 （感想交流等は、5校時に）	・「（提供終了後）それでは食べましょう。」	

# 特別活動学習指導案（略案）

日時：平成30年9月10日（月）5校時

児童：礼文小学校全校児童（49名）

指導者：各学級担任（学級ごと）

## 1、単元名 「1日防災学校を振り返ろう」

## 2、本時の目標

1日防災学校で学習したことを振り返り、自助、共助の観点から、今後の防災行動や減災行動について考え、防災の知識に関心を高め、適切に対応できるよう判断や行動をとろうとする。

1・2年：（自助）スリッパ制作の体験を振り返り、避難所で必要なものを考えることを通して、災害時の行動について考えることができる。

3・4年：（自助・共助）オリジナルハザードマップ制作を振り返り、自分の地域での防災行動について具体的に考え、避難行動をイメージできる。

5・6年：（共助）非常食作り、提供の体験を振り返り、避難生活に必要なことをイメージし、具体的な行動を考えることができる。

## 3、本校の育成する資質・能力との関連

本単元では、次の3点について児童の育成を目指し、探求力の向上を図る。

（学ぶ意欲・喜び）1日防災学校の体験を振り返り、進んでまとめたり発表したりしようとする。

（豊かでたくましい心）1日防災学校での活動を通して、防災の知識を深める。

（力合わせ）友達と交流しながら振り返るとともに、防災・減災行動について考える。

## 4、展開

過程	活動内容	教師の支援・留意点	評価
つかむ  5分	○感想交流  ○防災・減災行動について考えることを知る。  （各学年で設定） （1・2年）避難所で必要なものは何でしょうか。 （3・4年）避難行動に必要なことは何でしょうか。 （5・6年）避難生活に必要なことは何でしょうか。	・「（各学年の体験活動を振り返り）今日の1日防災学校はどうでしたか。」  ・「今日の体験を通して、みなさんに考えてもらいたいことがあります。」	
考える  15分	○各学年でのまとめに向けた活動を行う  （1・2年）カードに書き込む （3～6年）感想用紙に書き込む	・活動内容指示	評 進んでまとめようとする。

<p>まとめ</p> <p>20分</p>	<p>○学習課題の交流</p> <p>1・2年 考えたものが身の回りの物を使って作れるかどうか</p> <p>3・4年 ハザードマップ作成の際記入した白地図を見ながら、振り返る</p> <p>5・6年 避難所生活に必要なことを考える</p> <p>○感想交流</p>	<p>・「書いたことを発表してください。」</p> <p>・防災グッズの紹介等</p> <p>・避難行動についての想起</p> <p>・避難所生活の様子を紹介等</p>	<p>評</p> <p>防災行動について具体的にイメージできる</p>
<p>災害は、いつ起こるかわからないので、今日の体験を思い出して、素早く行動したり、工夫・協力して行動したりするようにしましょう。</p>			